

27 横浜開港資料館における文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：横浜開港資料館（横浜市）

文化観光推進事業者：（公財）横浜市ふるさと歴史財団

（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー 山下公園通り会

協同組合元町 S S 会 横浜中華街発展会協同組合

計画期間

2021 (R3) 年度～ 2025 (R7) 年度 (5年間)

目標

・資料館来館者数

2020年度12千人→2025年度112千人 (+100千人)

20年度はコロナ禍による減。過去5年平均は56千人

・外国人来訪者数

2020年度142人→2025年度11200人

※10年後（2030年度）には20千人

・来館者満足度

2020年度3.67→2025年度 4.1 (+0.5ポイント)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

・「横浜開港」資料をデジタルアーカイブで公開し、山下公園・元町・横浜中華街に関する展示と連動して情報発信

<2.文化についての理解促進>

・スマートフォン・タブレット端末対応の多言語解説アプリの提供

<3.文化観光に関する利便の増進>

・専門職員監修の伝統的観光地エリア内のガイドツアー実施

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

・所蔵資料を活用し歴史的メニューの再現やオリジナル商品を開発

<5.国内外への宣伝>

・大桟橋や羽田空港、近隣ターミナル駅など、旅客のターゲット別に段階的にプロモーションを実施

<6.施設又は設備の整備>

・旧館のバリアフリー改修や公衆Wi-Fiの整備

文化観光推進事業費（5年間の計画ベース）

351.5百万円（うち、文化観光推進事業補助金227百万円）

計画区域

横浜伝統的観光地エリア（山下公園・元町・横浜中華街）



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設